

新しい検定成績表についてのご感想はいかがでしょう？

特に牛群成績のページは、内容が充実し情報量が多くなりました。しかし、活用方法が一変した訳ではありません。過去1カ年の成績などを指標に月々の成績の改善・向上を図る活用は変わらないし、平均値だけでなく数値の散らばりも分かるので、より改善につなげることができます。

都府県では、分娩する牛が多くなり、最も産乳量が伸びる時期となります。この時期を乳房炎による乳量損失なく乗り切りたいものです。

そこで、今回は体細胞数とリニアスコアに触れてみます。牛群成績の移動13カ月成績の月別と年平均、または前年との対比で増減が確認できます。乳量損失の少ない健康な乳房を示す7万(リニアスコア2)以下の搾乳牛頭数比率を高めることが大切です。反面減らしたいのは乳房炎が疑われる28.3万(リニアスコア5)以上の牛です。乳房炎対策はこうした牛群検定による正確な実態把握が欠かせません。